

佐久市佐久つと支援金事業 自己評価報告書

		評価日	2023年 3月 31日
団体名	大人と子どもの青空カフェ		
事業名	カフェ事業		
事業経費③	12,783 円	支援金額⑨	9,000 円

事業の目的・内容	<p>地域の課題</p> <p>課題と考えている点は以下3点 子育て支援の場が少ないこと、支援の場での交流が少ないこと、そして主に室内での支援をしている公的な育児支援の場に行きづらい親子の居場所がない。</p>
	<p>事業内容</p> <p>本事業は、親子の居場所や育児の情報交換や交流の場を必要としている親子の声に答えるため、主な活動の場を佐久市内の公園とし、佐久市の自然環境の中で、こどもは遊び、大人も人との繋がりを広め情報をえる機会となる、そんな場と時間の過ごし方を提供することを目的とする。</p>

事業の活動実績	<p>4月～翌年3月まで計8回の青空カフェを開催いたしました。 今年度は、昨年度と異なりメンバーで活動したいことと、実際の家庭の状況やそれぞれの仕事がスタートしたこともあり、想像以上に活動が制限される中でできる限りなんとか開催したというのが現状でした。</p>
	<p>以下活動日、活動内容、参加者</p> <p>4/21 五稜郭公園（田口）（大人5名、子ども4名） 5/19 雪窓公園（御代田町）（大人10名、子ども8名） 6/16 成知公園（中込）（大人8名、子ども7名） 7/28 さくらサク小径（雨天のため中込商店街にて開催）（大人6名、子ども4名） 10/20 中嶋公園（大人8名、子ども7名） 2/16 県立武道館（室内及び外広場併用）（大人4名、子ども5名） 3/16 創練センター（室内及び中庭併用）（大人4名、子ども5名）</p>



事業の様



事業の成果・効果	<p>必ず毎月の開催とまではできませんでしたが、参加者の方からは 「毎回この場を楽しみにしている」 「母子手帳をもらった時にこういう場があるのを知りたかった」 「公的な支援の場では得られない情報を得られたり、大人同士のおしゃべりや繋がりができて楽しい」 「悩みを共有できるだけでなく解決のヒントをもらえてスッキリできた」 などの感想をいただき、小さい活動ながらもその場にきた方にとってはその日だけであっても心が満たされる有意義な時間と場になっていることは間違いなく感じています。 また、常連の方だけでなく友達の友達に聞きましたという新規の方もいらっしやったりと口コミでこの場が広がっているようです。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた 1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 自己評価を記入 活動メンバーの日常の中でできること、そして、暮らしの学校事業を立ち上げた中でもできることはやるという意識で取り組みました
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた 1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 自己評価を記入 集客数は目覚ましくは伸びていませんが、新しい方への広がりや常連の方の参加、そして、産後に再度参加を始めた方もおり、期待していた形とは違っていました。効果がありました
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について 1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由（2、3と答えた場合のみ） 消耗品を購入予定でしたが、実際に用意をしなくても今あるものや寄付によって充実させることができ購入を見送ったものがありました。
	その他、評価すべき点等 8回という開催であっても、参加者の方が多くなっても参加者さんにとってこの時間を楽しみにしている、という言葉に、事業規模でないところにこの活動の意味があるということに気付かされ、私たちは一人でもそういう方がいるのであれば小規模ではありますが今後も続けていきたいと思っております。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>想定の活動の最低限のところで開催することはできたものの、活動メンバーのプライベートをまずは大事にしている中での活動でもあるので、改めて次年度以降はプライベートの状況をより密にコミュニケーションをとりながら、これまでの活動のやり方にとらわれず新たな形での活動を模索していきたいと思っています。また、チラシ作りのノウハウを暮らしの学校事業へのチャレンジを通して得ることができたので、チラシの掲示、配布を行いターゲット層へ周知していきたいです。（願わくば、子育て支援課や検診を担当している保健課に協力をしていただけたらと思っています）</p>
---------	---